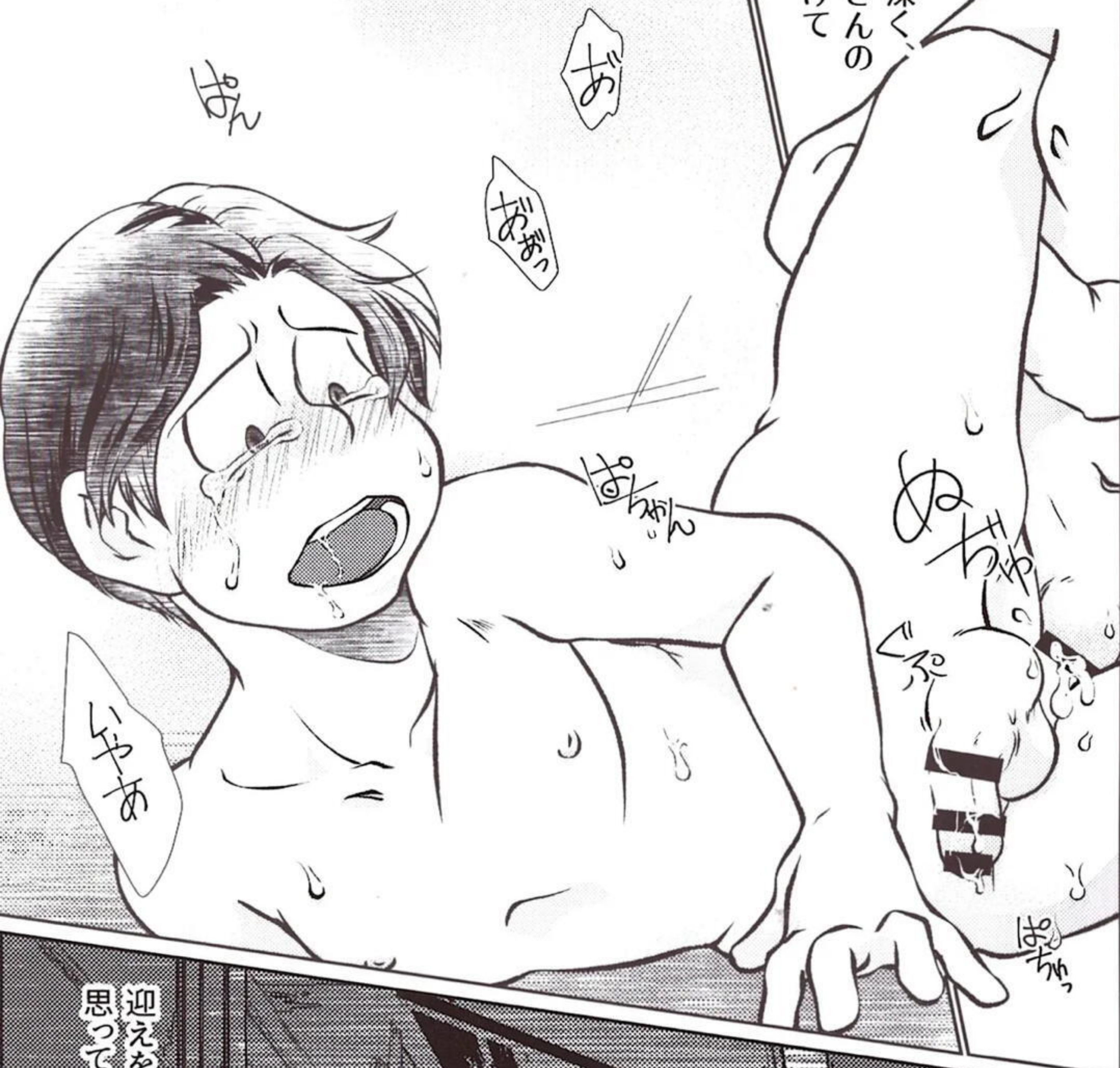


成人向け

あんなに  
あんなに  
あんなに  
あんなに



この日はもう夜深く、  
朝がきたら大蔵さんの  
会社に電話をかけて



迎えを呼ぼうと  
思っていたのに――

山で拾ったんだ  
おうちに泊めて  
あげてよ

えへへ  
拾われ  
ちやっ  
た

おやおや……  
大のおとなが  
落ちていたんですか？

泊めるのは  
かまいませんが  
どうされたんです？

山道で車が  
故障しちゃってね  
仕方なく歩いていたら

転ぶは  
落ちるは  
もーたいへん!!

そこに通り  
かかったのが  
ぼく

ぼくのうちより  
緑土の方が近いし  
険しくないでしょう？

ダヨ子のいない日で  
よかった

妹に危険が  
及ばないのであれば  
まあ一晩ぐらいなら

もちろん  
いいですよ

あがってください

よかったね  
おそ松兄さん

やりっ

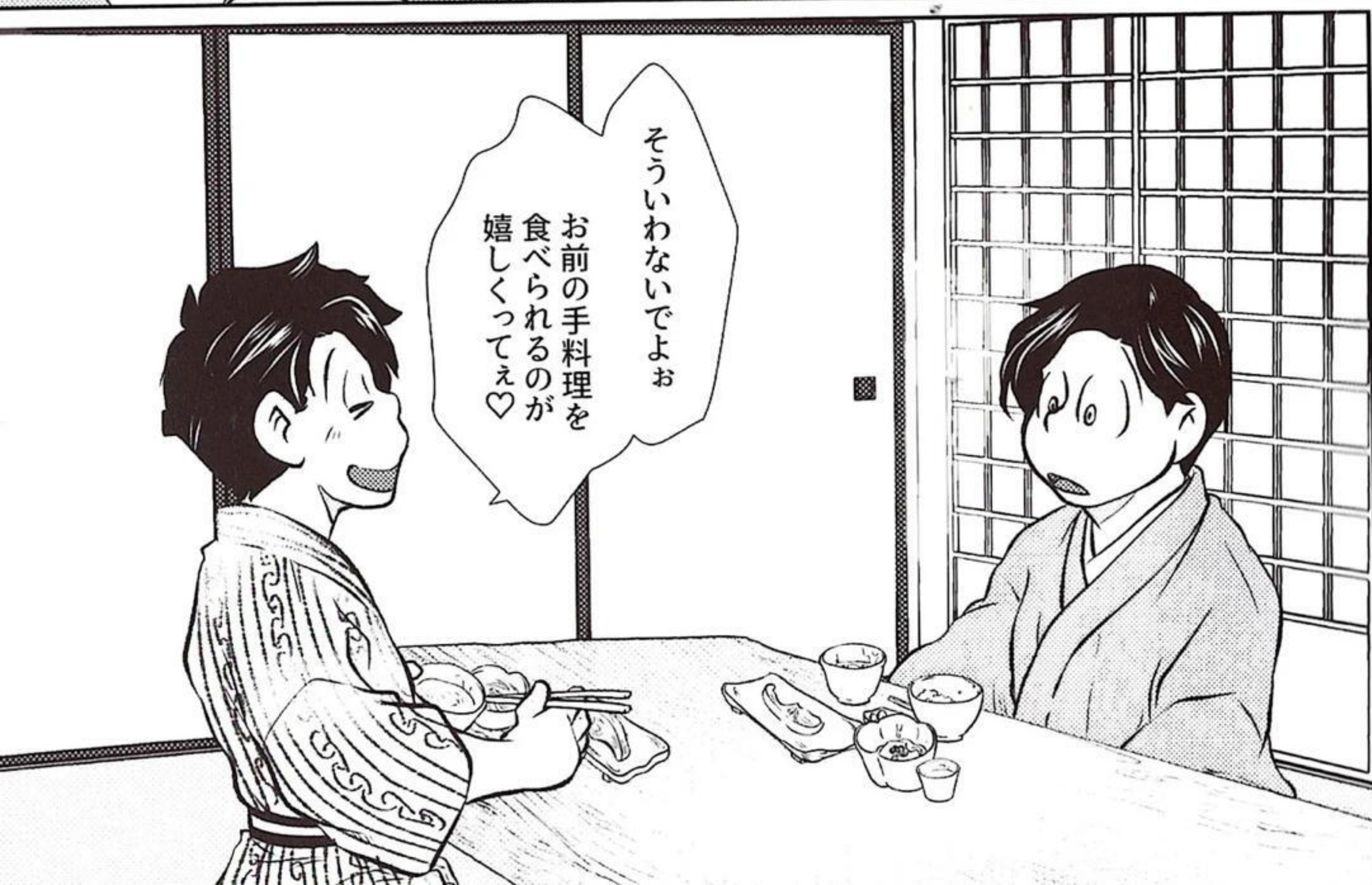
おなか  
ぺこぺこだよー

私の夕飯しか  
準備していなかったん  
ですからね

あとは  
簡単な物しか  
作りませんよ

さっさと  
さっさと



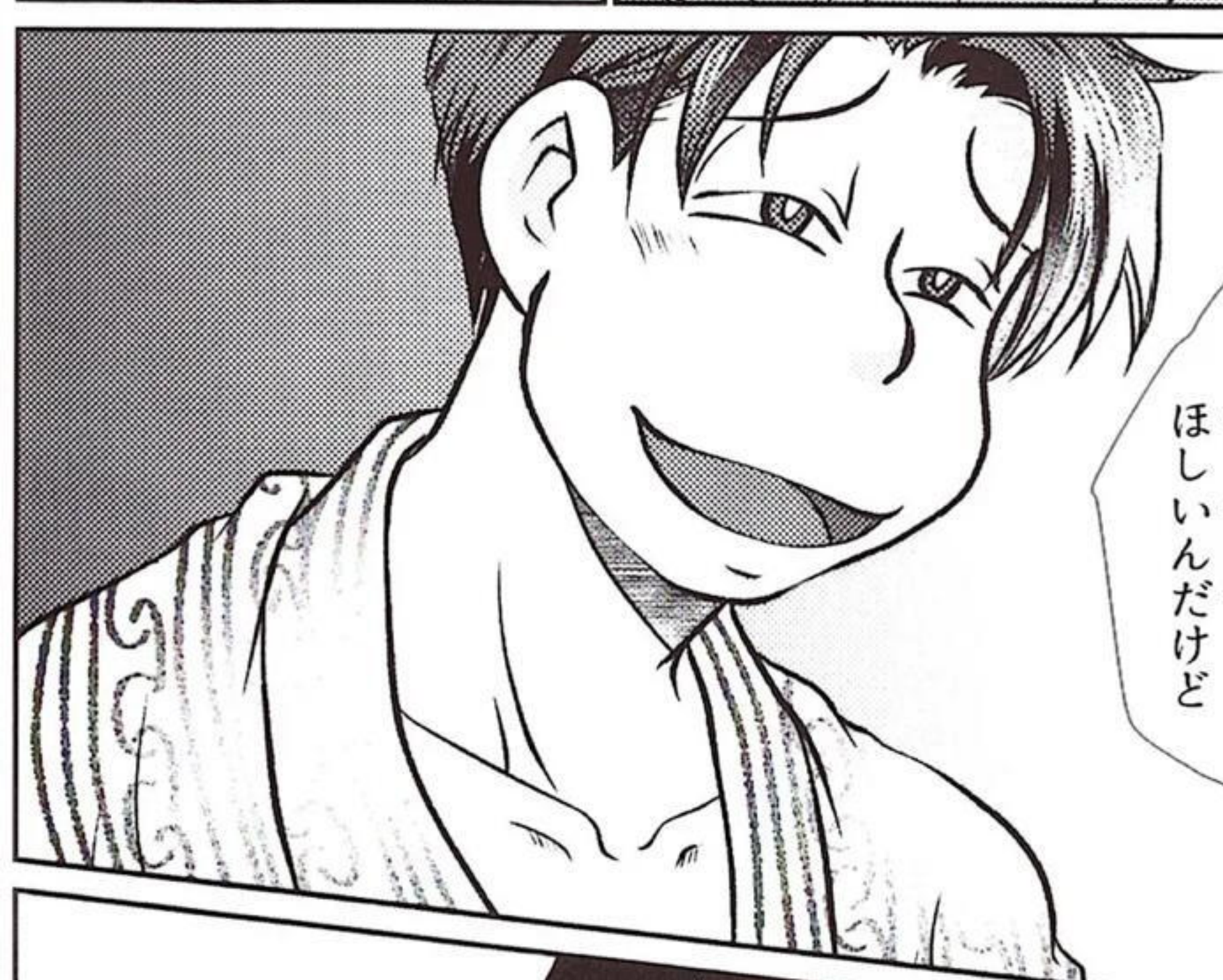




嬉しいと言われて  
悪い気はしませんけど



はあ

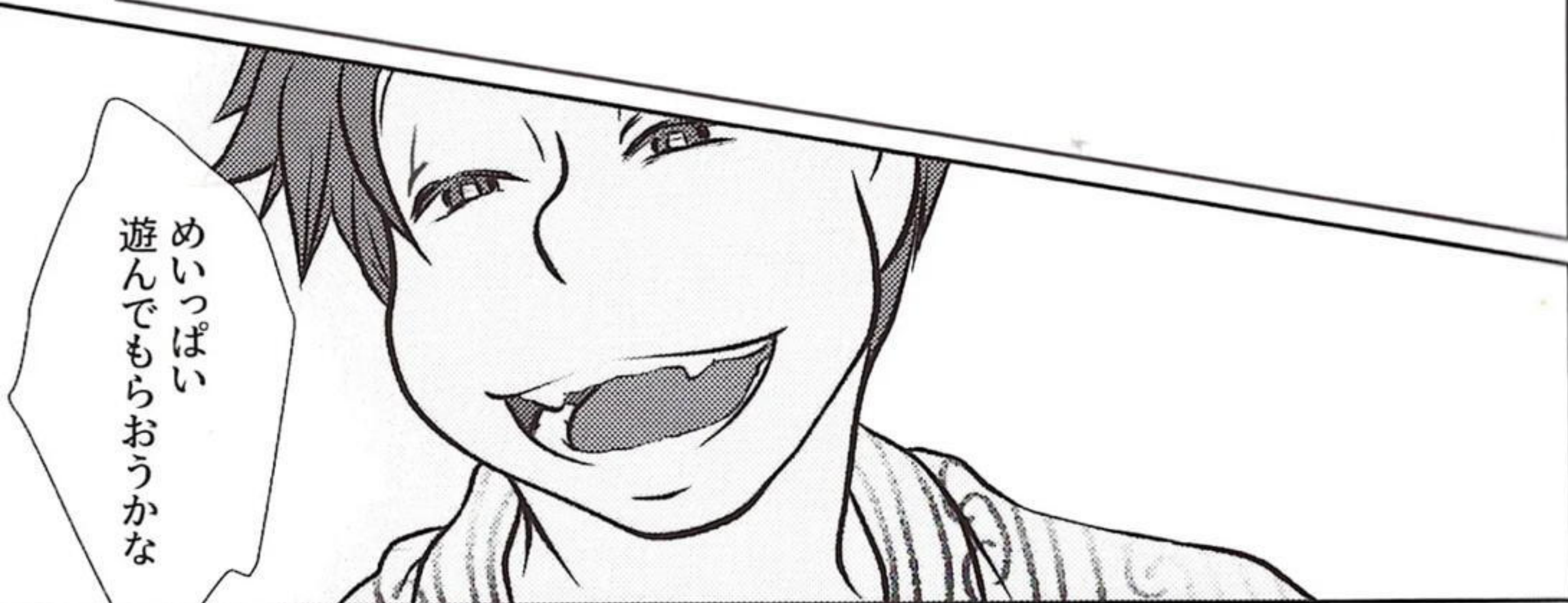
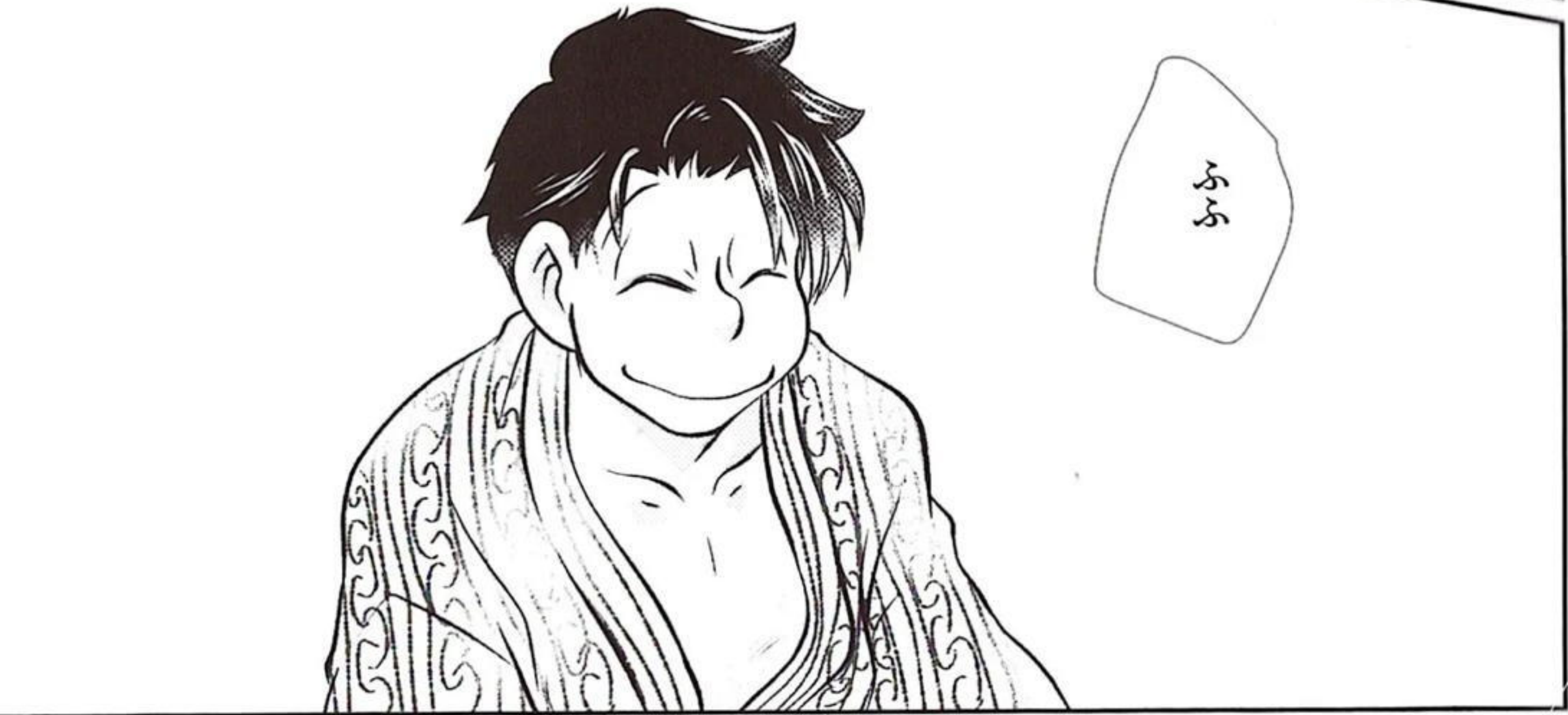



ねえ丁呂介さん  
今日はこのまま  
付き合っ  
てほしいんだけど



いいですよ  
お付き合  
いしまし  
ょう


山道を歩いてきても  
疲れていないのですね





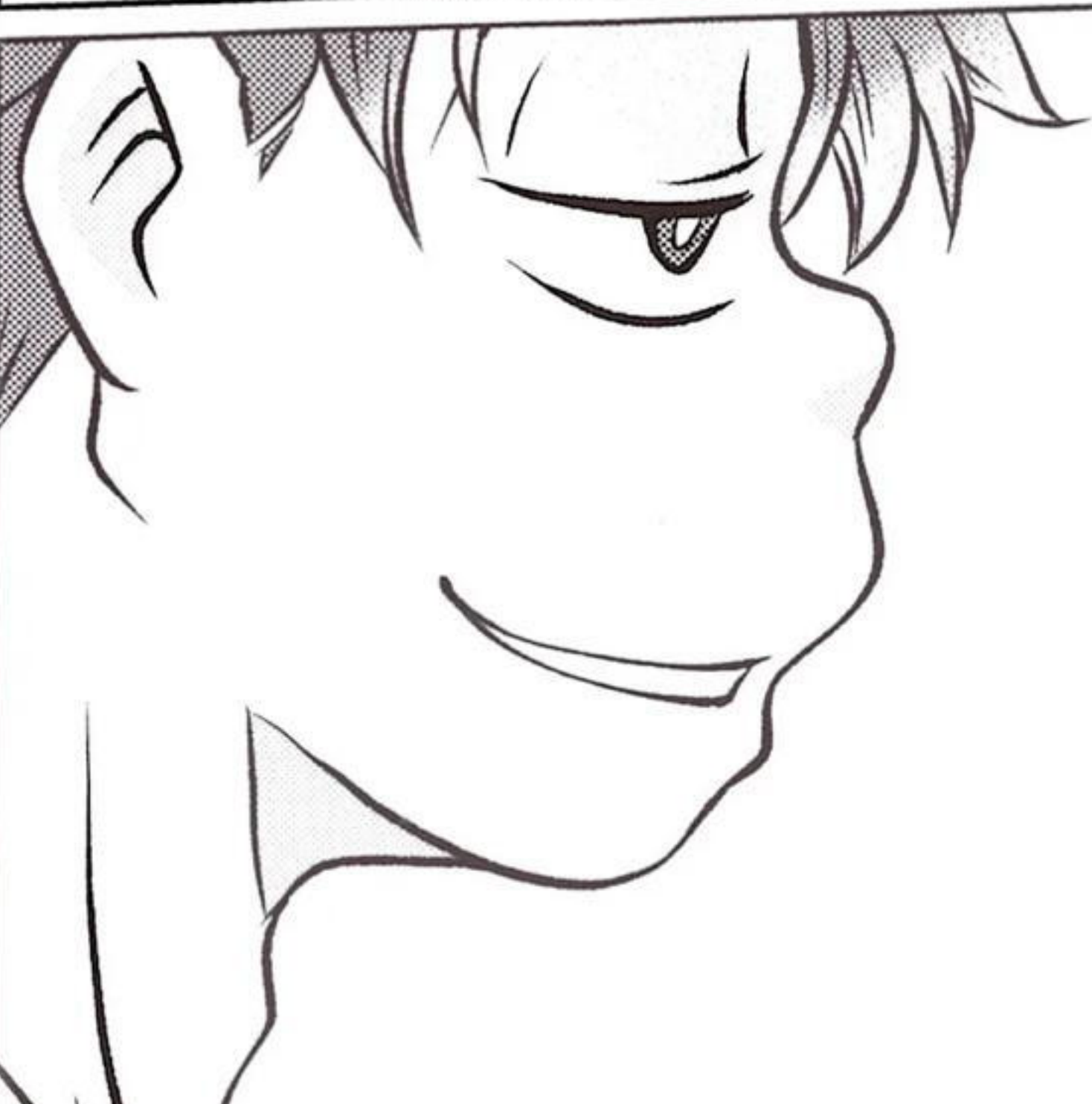
はいはい  
わかりましたよ

あまり呑みすぎて  
明日に支障がでない  
ようにしてくださいね

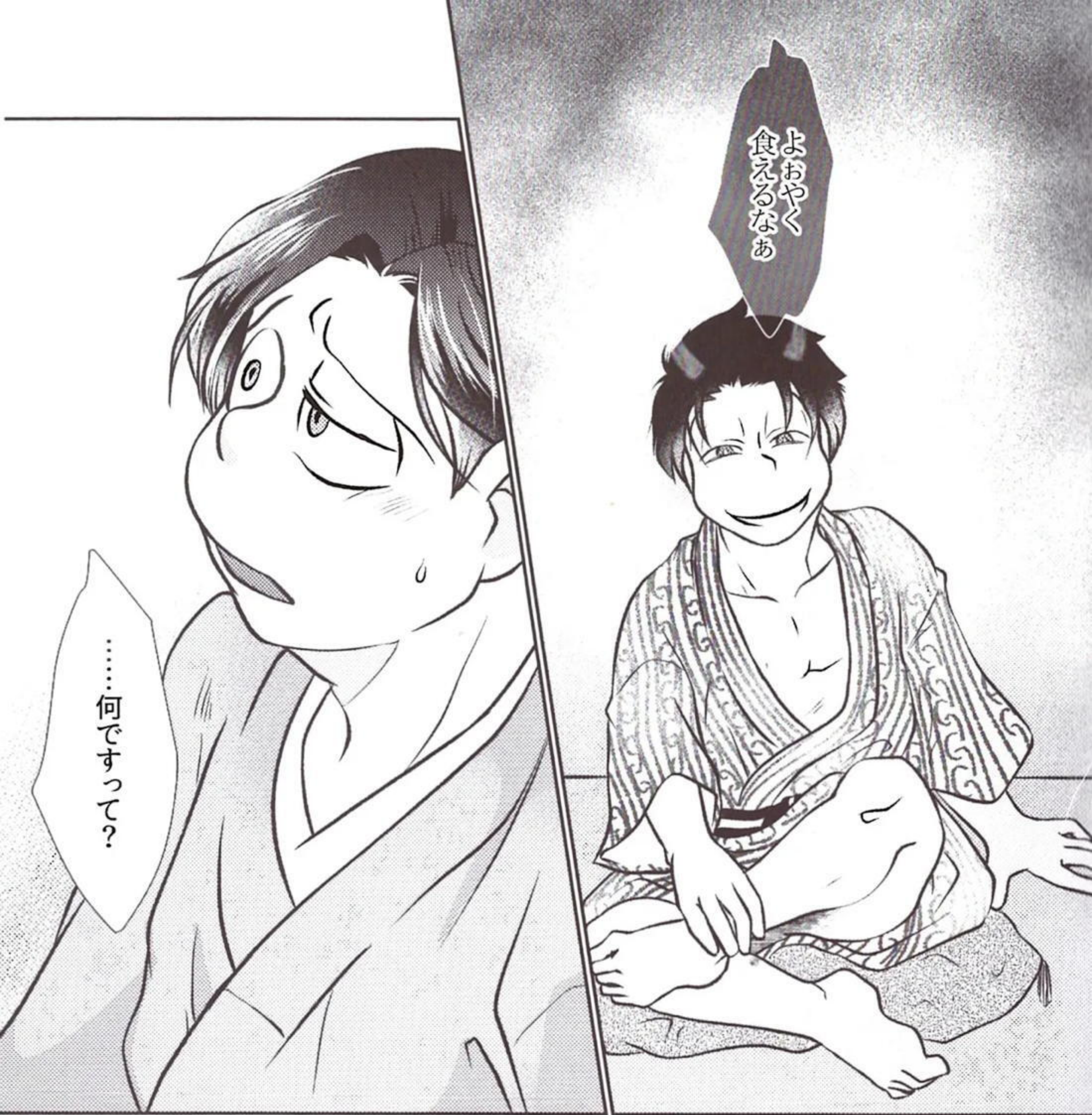


あした?

大丈夫  
明日は当分来ないから

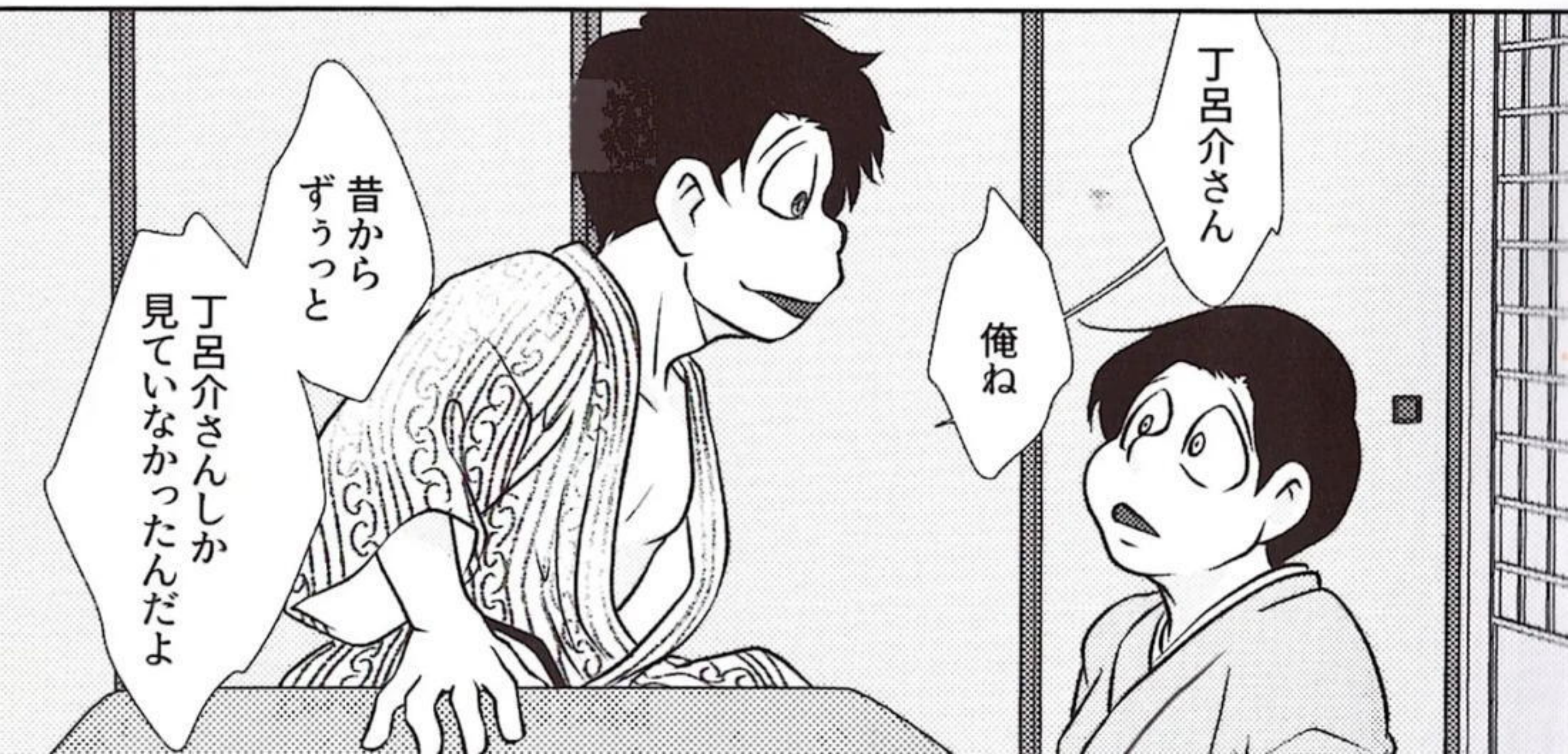


丁呂介さん  
俺と遊んでくれるって  
今言っただろう



よやく  
食えるなあ

……何ですって？



昔から  
ずうっと

丁呂介さんしか  
見ていなかったんだよ

丁呂介さん

俺ね



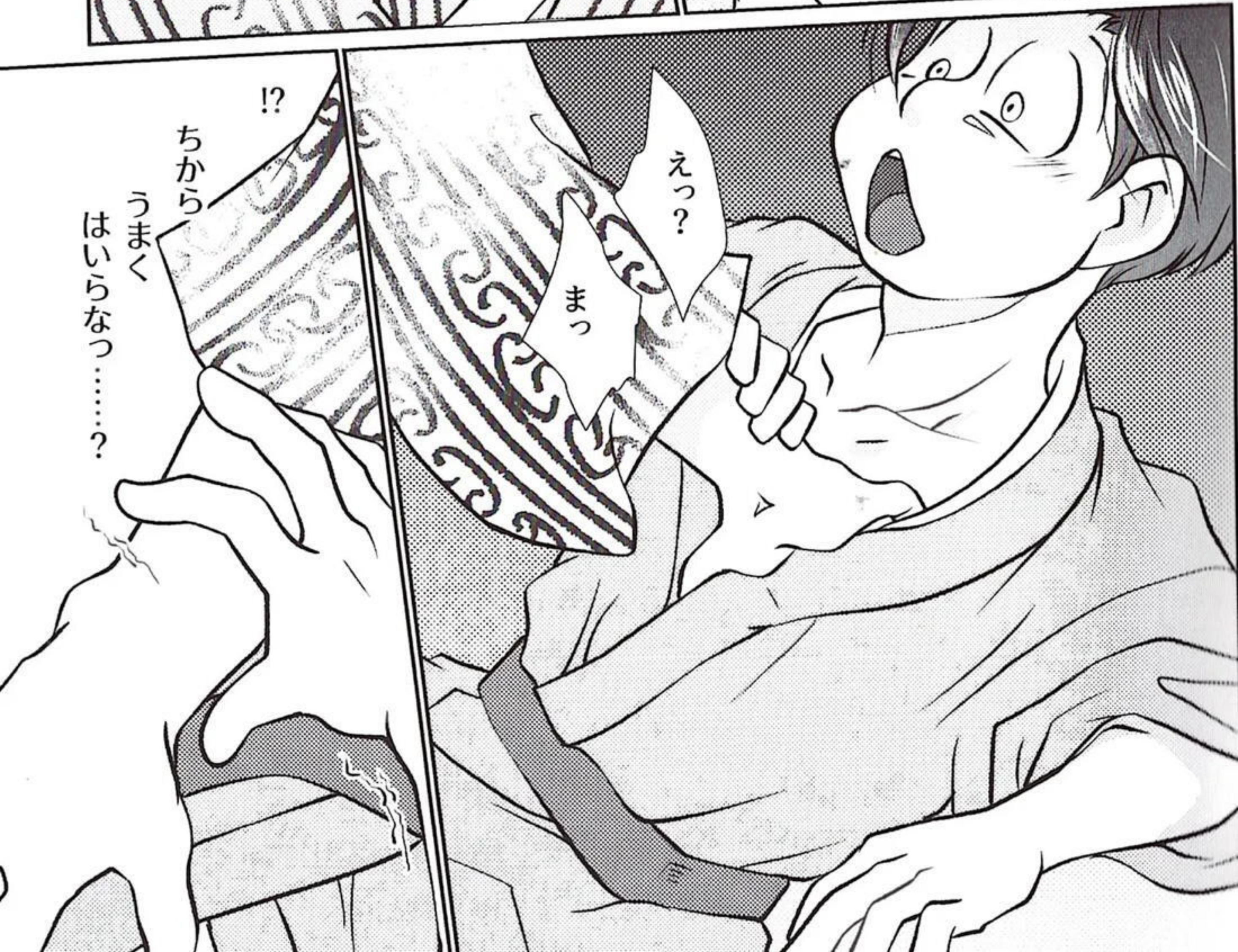
!?

はあ？

大蔵さん  
あなた先ほどから  
何を……？

それはもう  
永いことね

ずっとだよ



さけ、

美味かっただろ？

お酒？

お酒がなに!?

あ、  
ちの……

ひい!

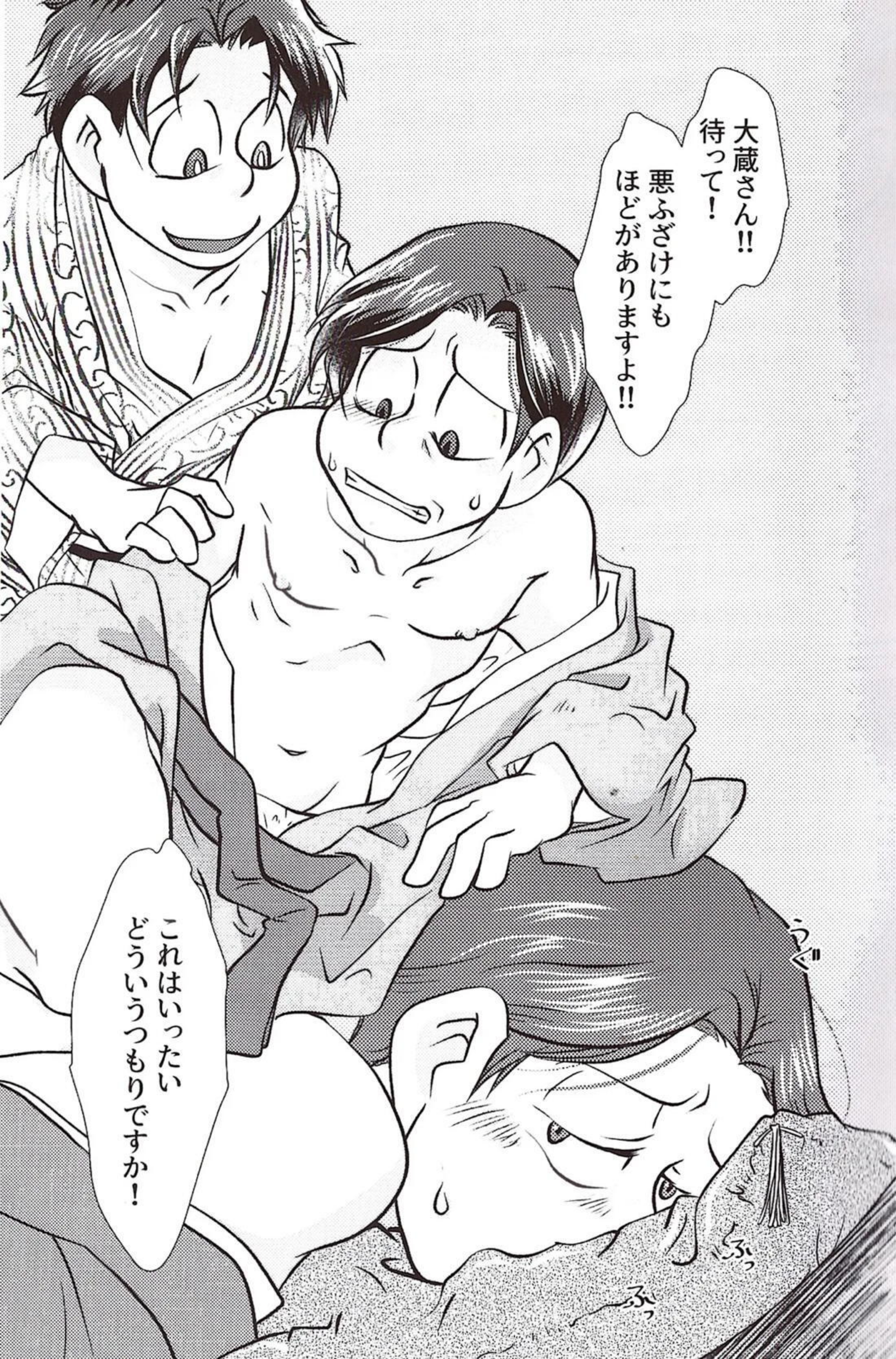
呑みすぎたにしても  
この急な力の抜け具合は  
おかしい!!



大蔵さん!!  
待って!!

悪ふざけにも  
ほどがありますよ!!

これはいったい  
どういうつもりですか!

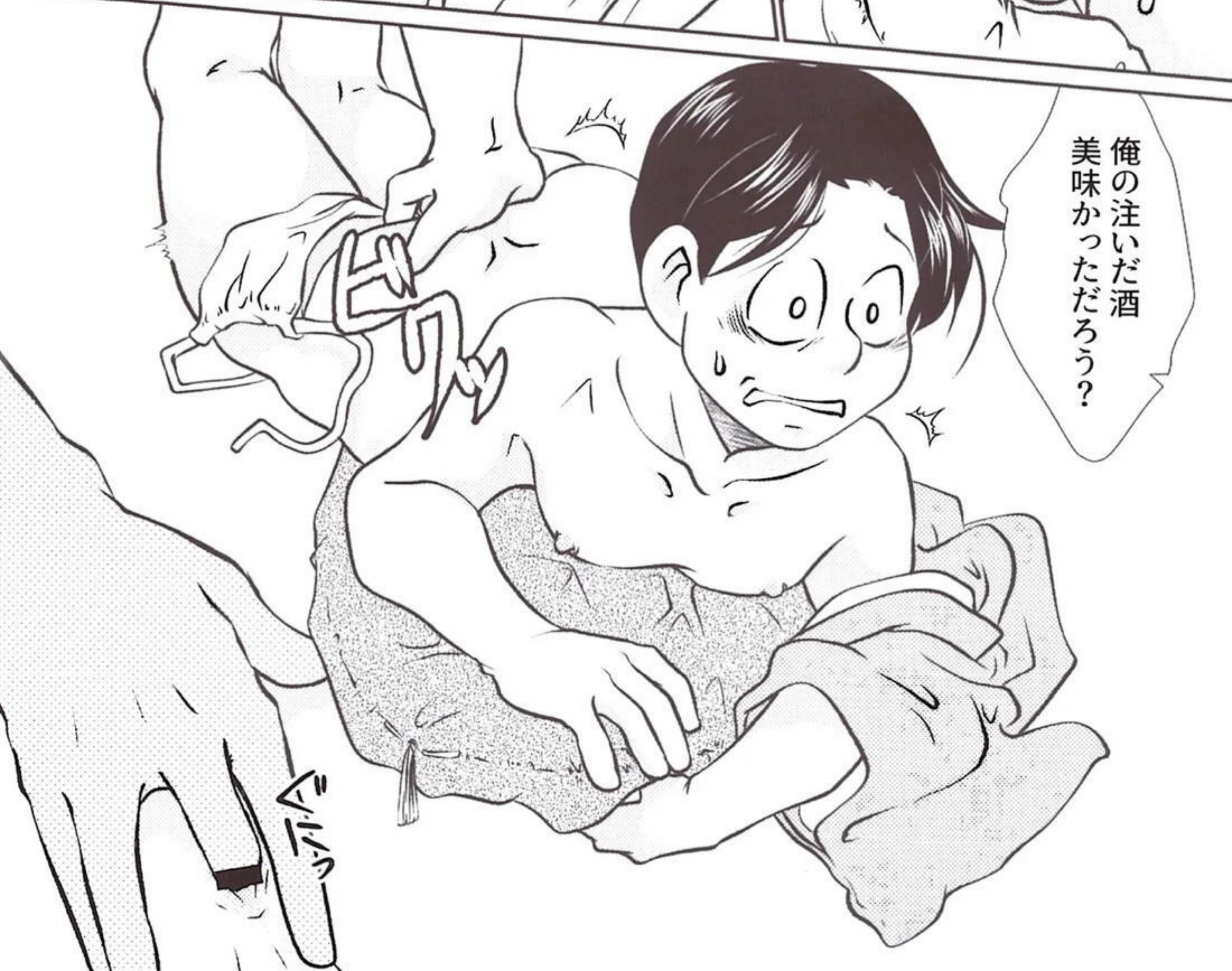




俺は酒を注いで  
あげただけ

なにかを盛ったりなんて  
していないよ

食事の準備をしたのは  
丁呂介さんだろ？



俺の注いだ酒  
美味かっただろう？

アハハ

—ウソっ  
指を……!?

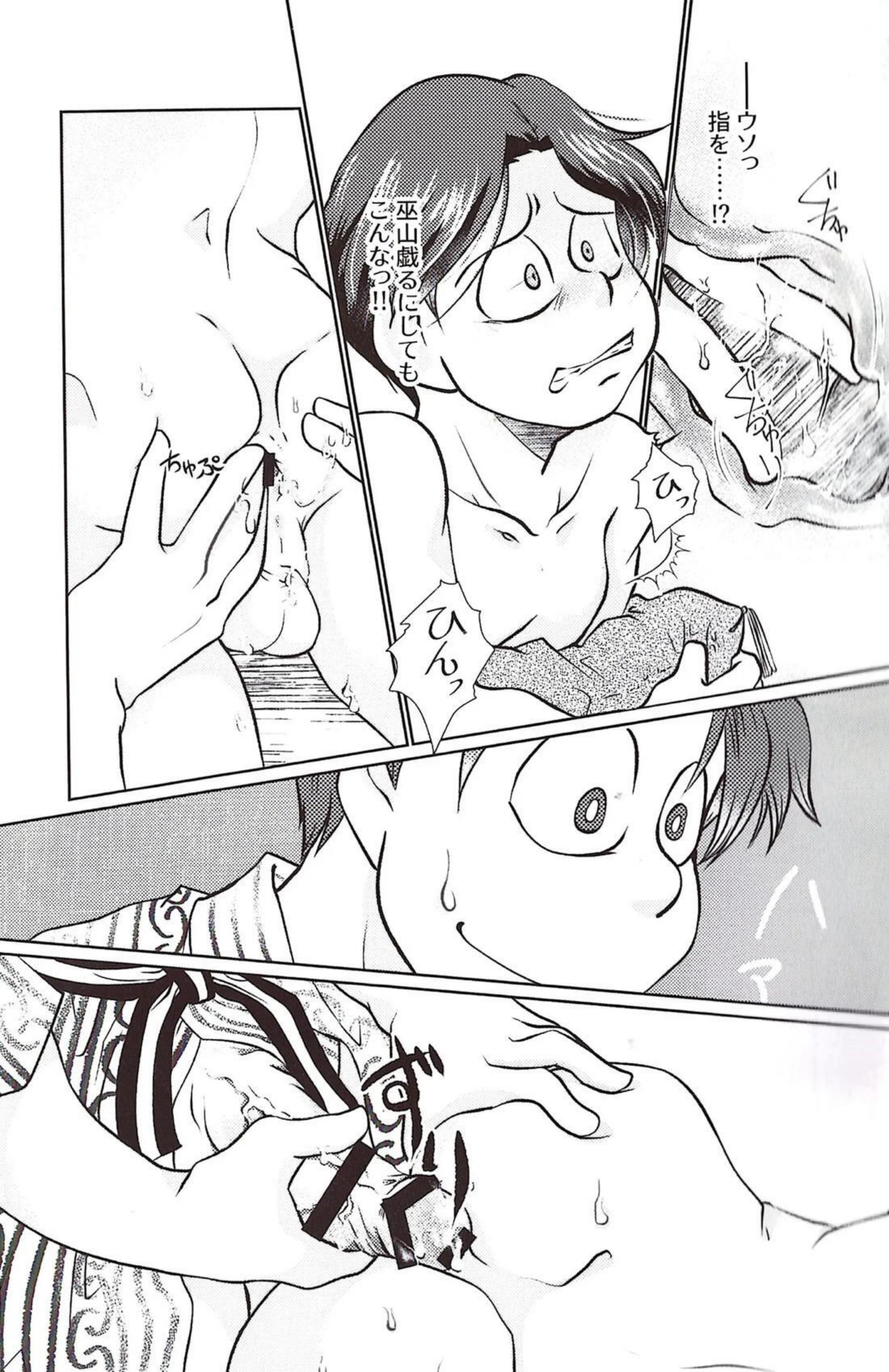
巫山戯るにしても  
ごんなつ!!

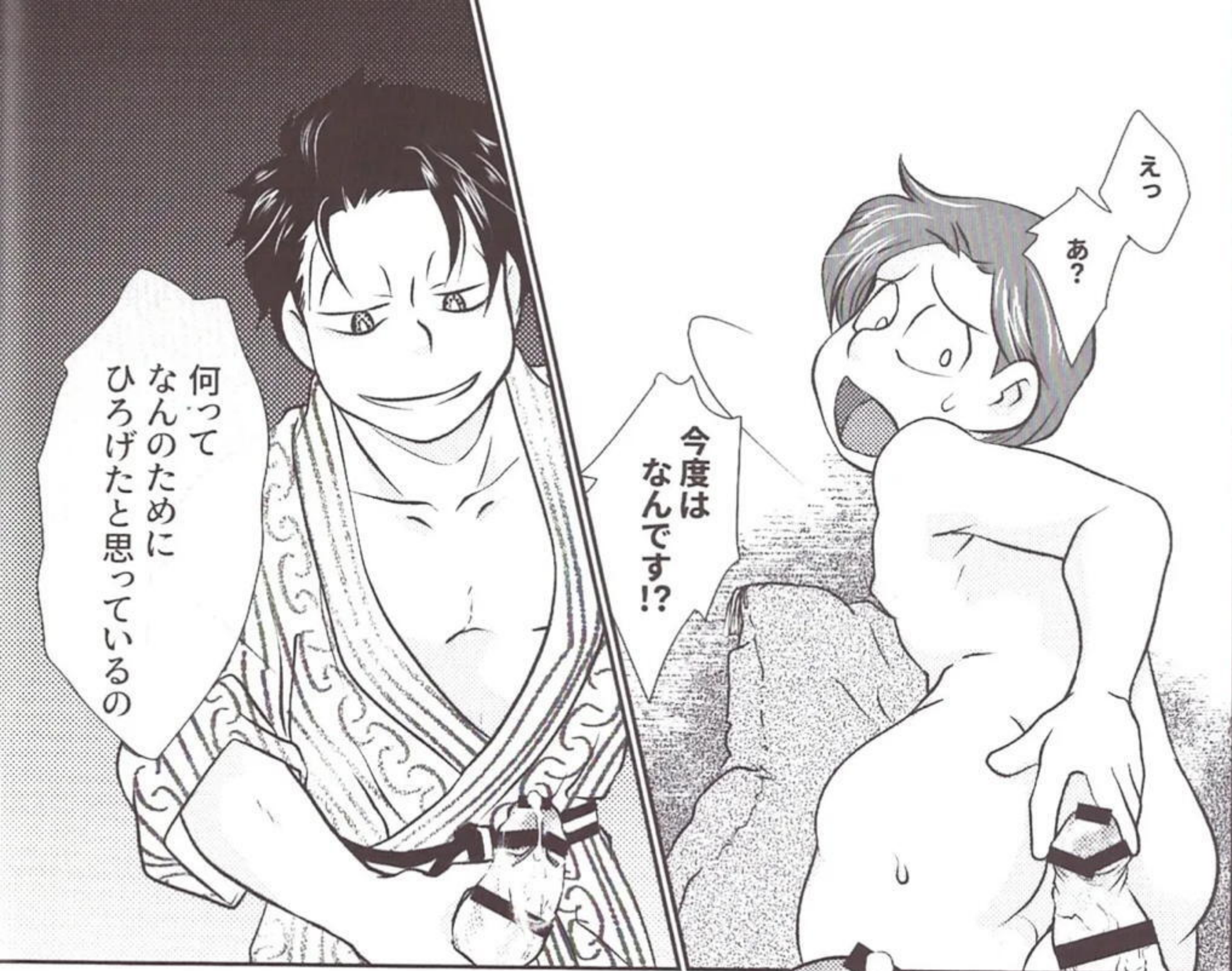
ちゅぽ

ひんっ

ひん

ア





何って  
なんのために  
ひろげたと思っているの

今度は  
なんです!?

あ?

えっ



何ですか  
その大きさは!!

!!

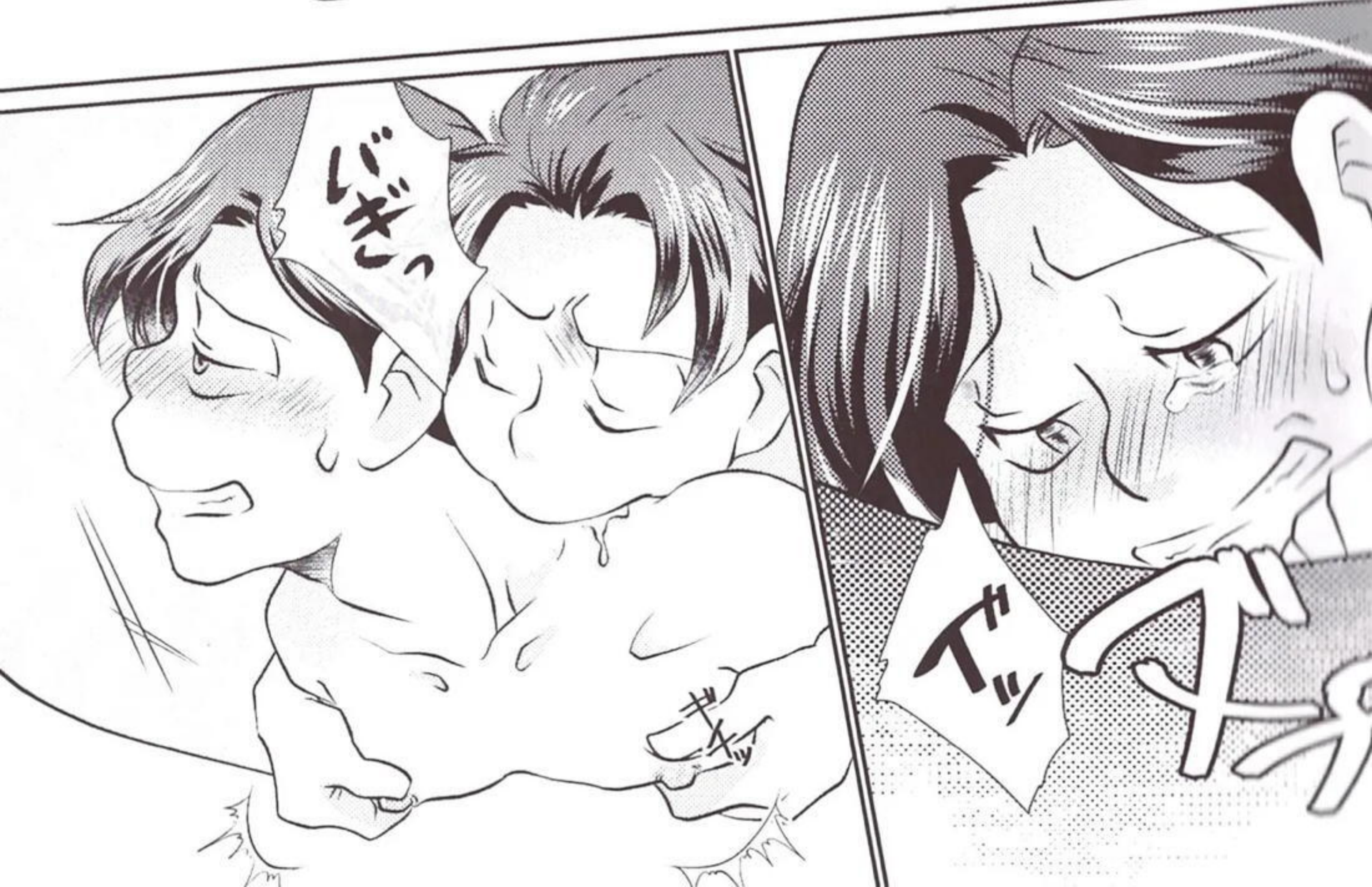


ああ

んん.....

あ

お  
し







前も一緒に  
いじられるの  
好きだもんね



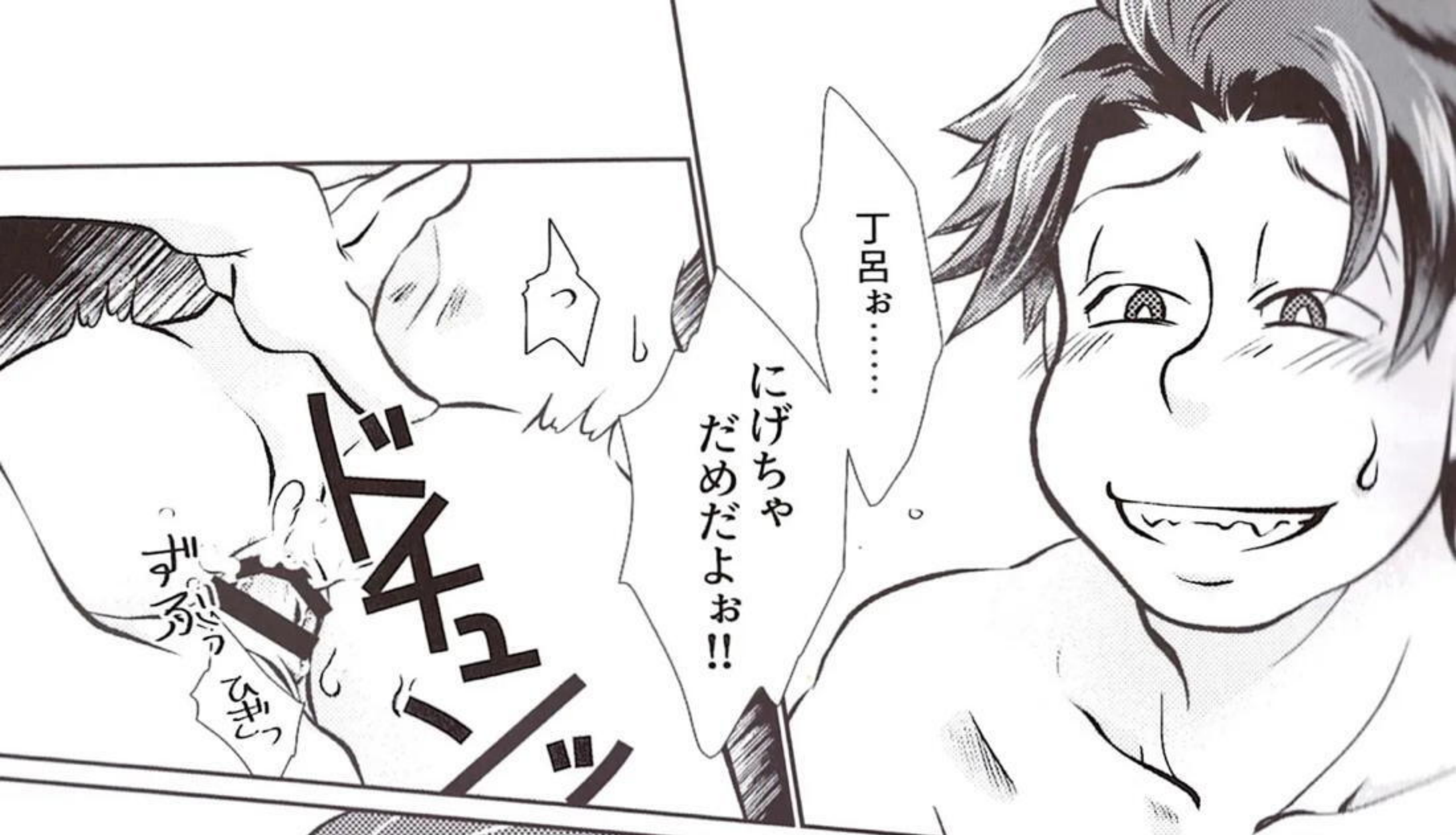
すぐ思い出せるって  
いつもすごく相性が  
よかったんだよ



すぐに俺で  
満たしてあげる









なにを……っ

おおぞっ  
わたしが

むりです！

むりっ

め



なんで

こんなことっ

うん

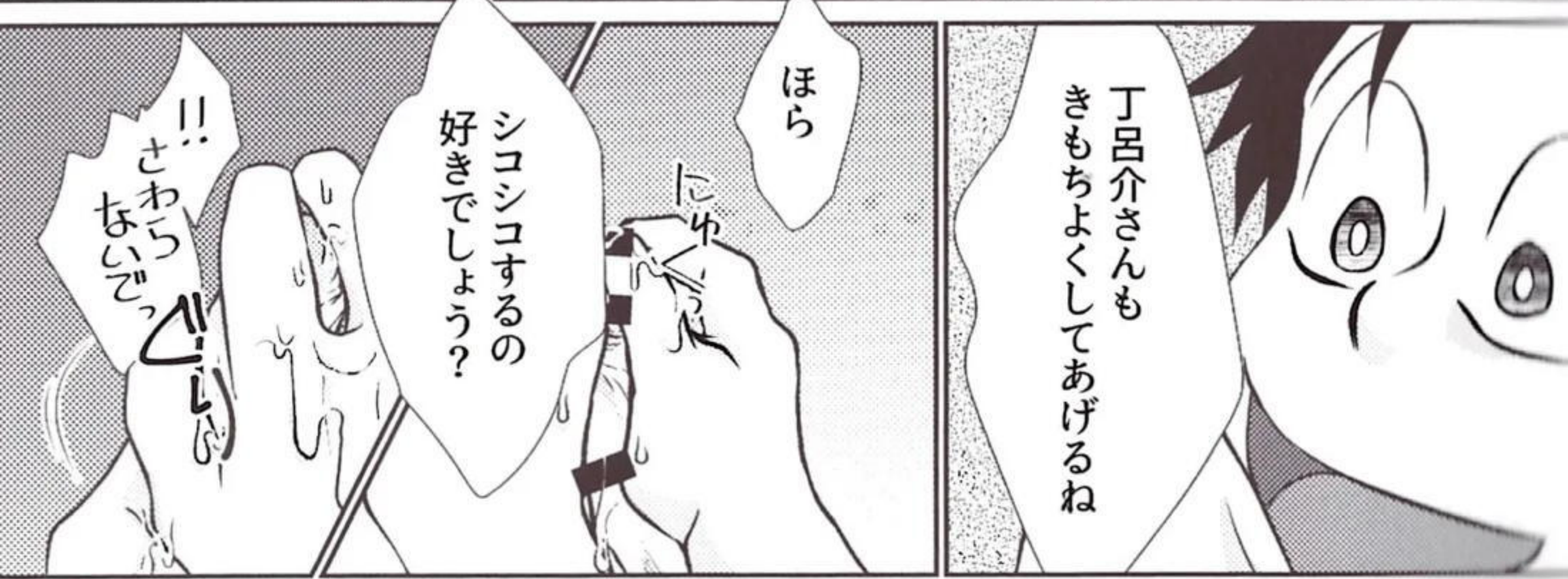
朝まで  
めいっぱい遊んで  
もらおうと思って

は

は

は

たか

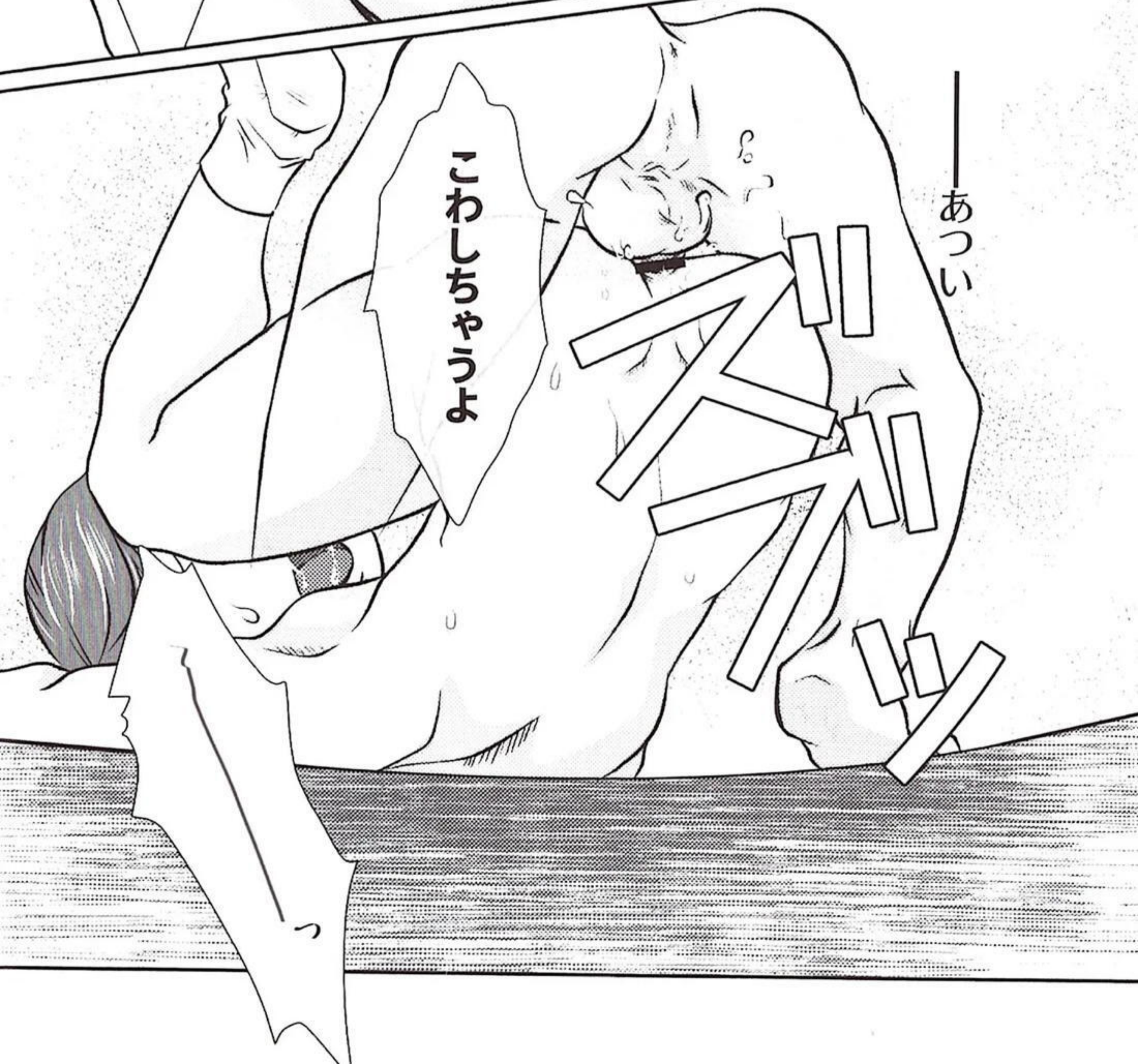




じゃないと俺  
丁吕介さんのこと

ね  
早いとこ  
思い出してよ

やめて……  
あ  
あ



こわしちゃいませ

——あついで

死





なんです

これは……

はっ

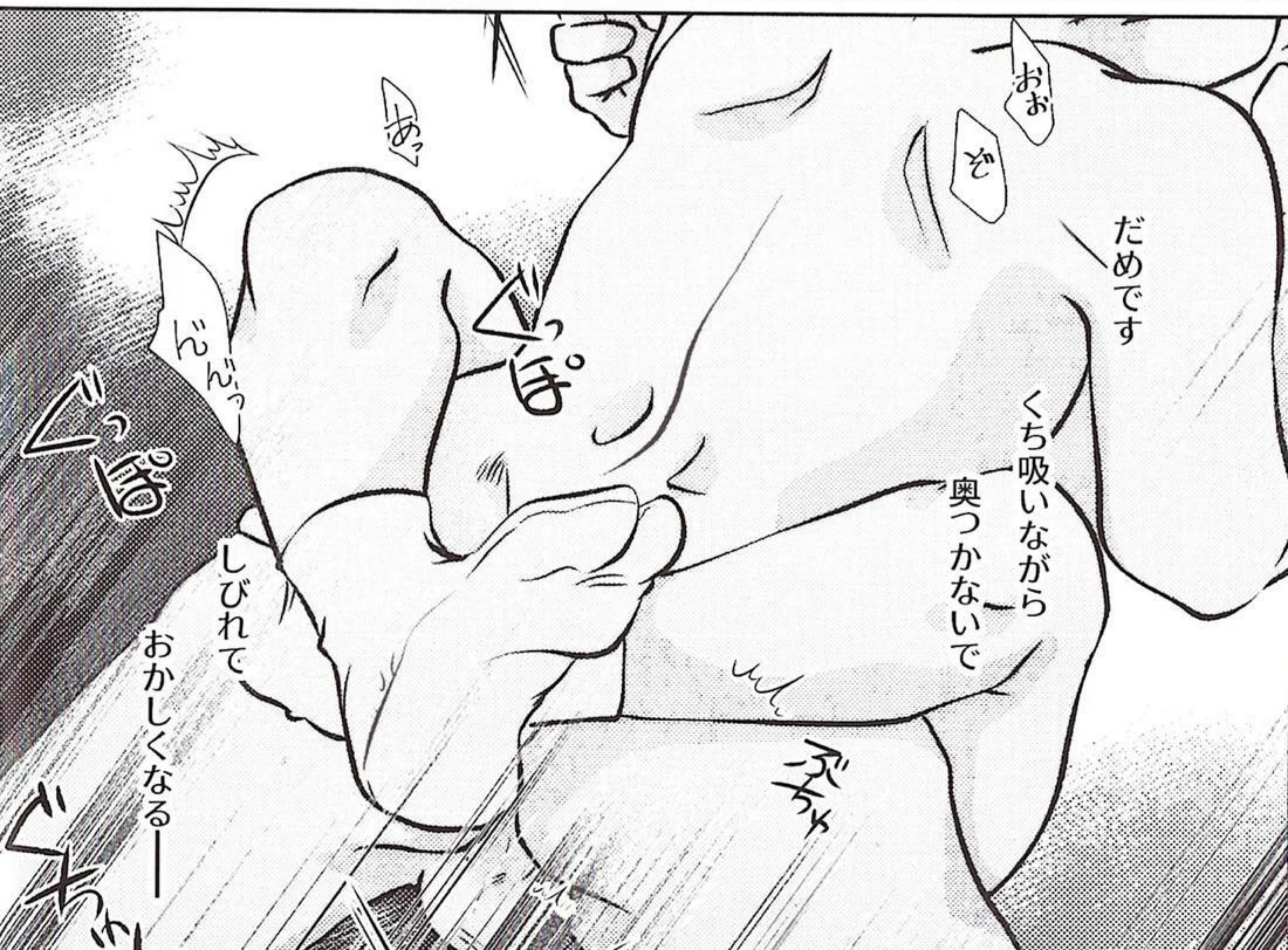
あ

ぐわ

あ

あ

ぐわ



だめです

くち吸いながら

奥つかないで

おお

ぞ

ぐわ

しびれて

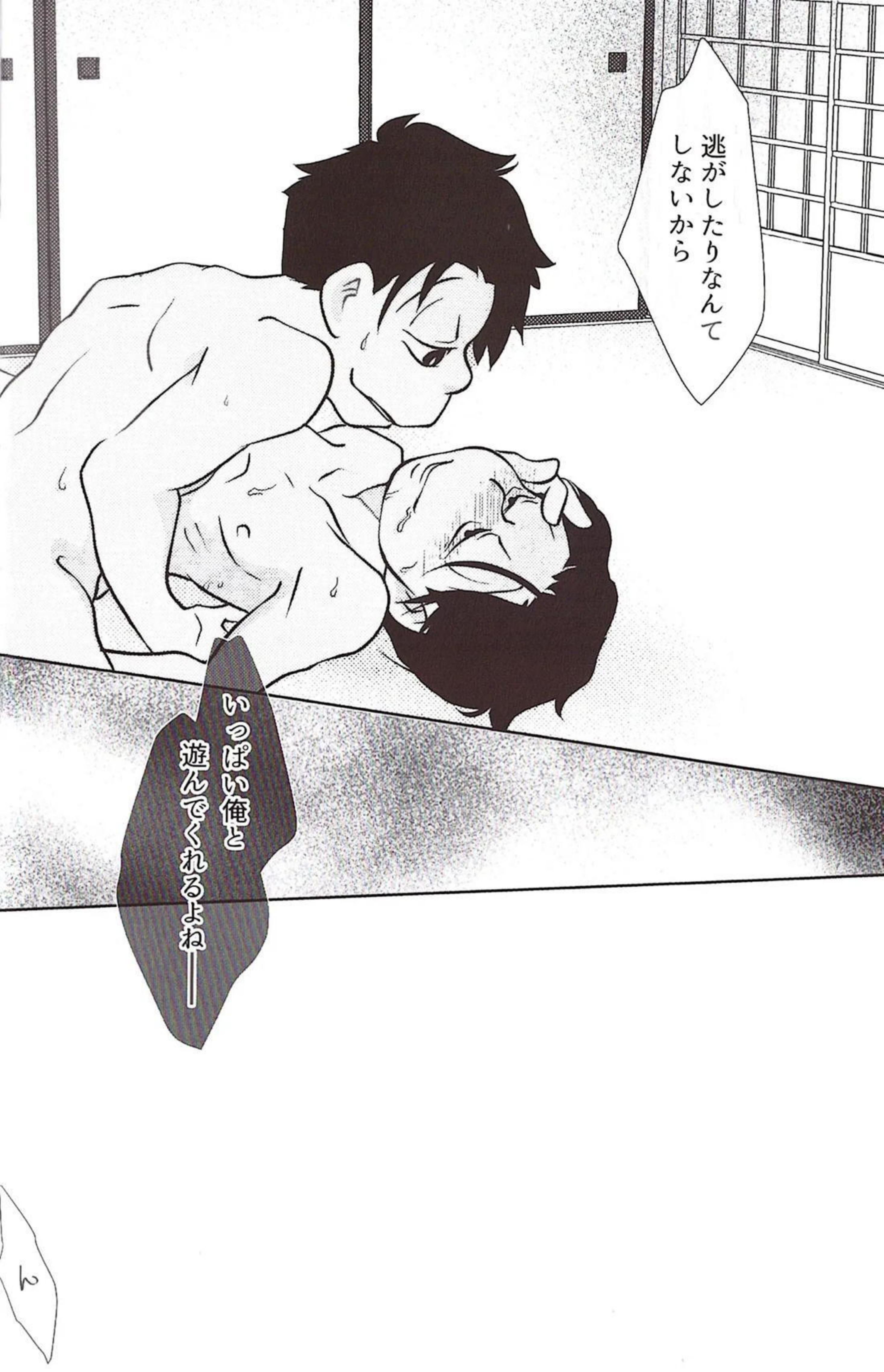
おかしくなるー

ぐわ

ぐわ

ぐわ





逃がしたりなんて  
しないから

いっぱい俺と  
遊んでくれるよね——

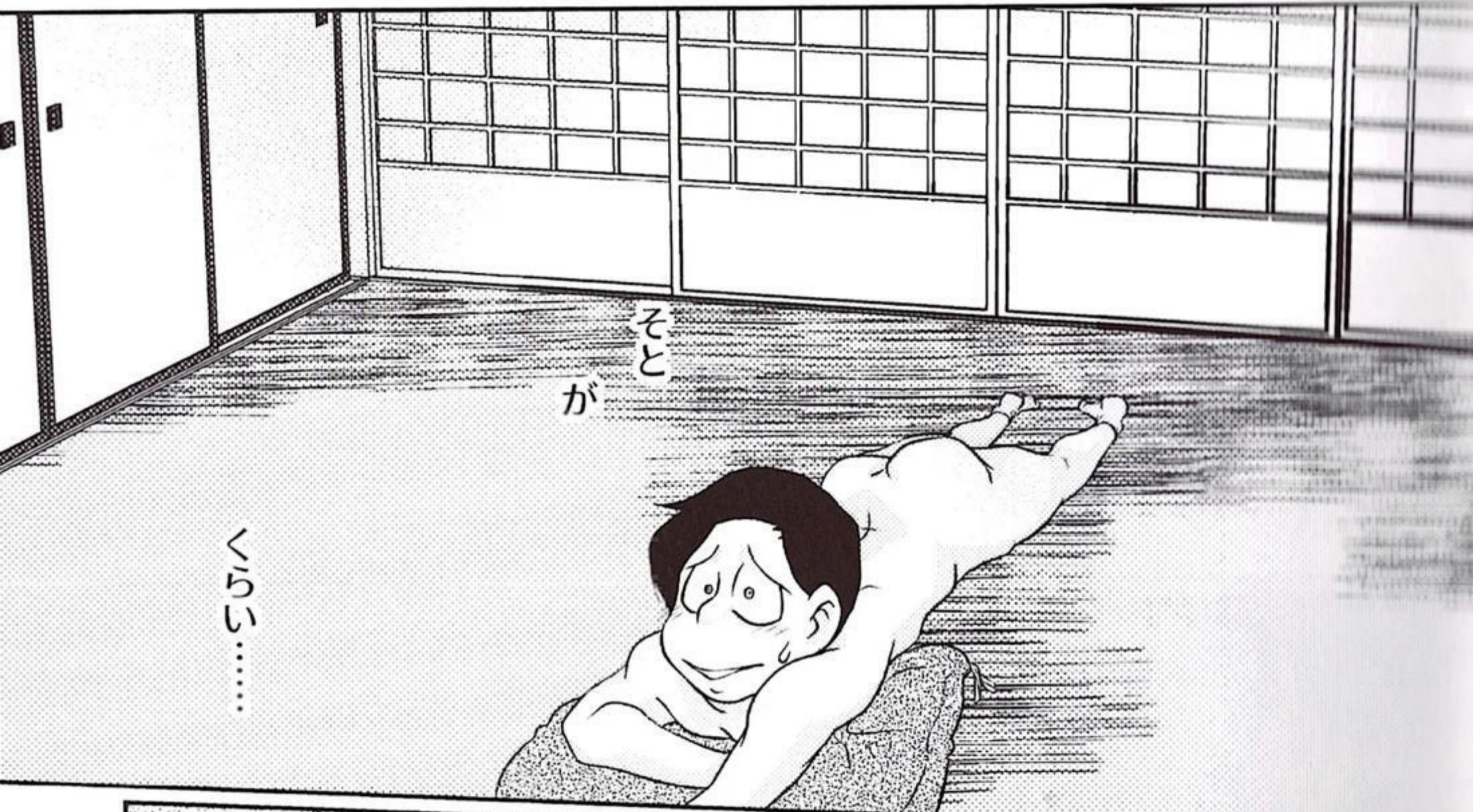
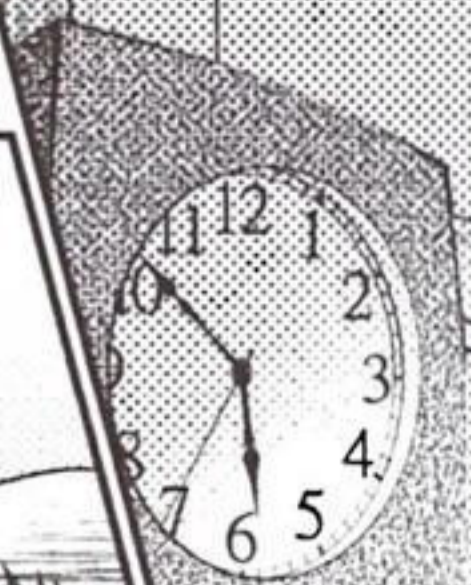


あさ……

ホッ



もうこんな時間に……



そと  
が

くら……



ふみふ

丁呂介さん  
外が気になるの？

まだね  
夜の時間だよ





この後  
なにをするか  
わかる？

ほら



あは

あは

まだなんだ

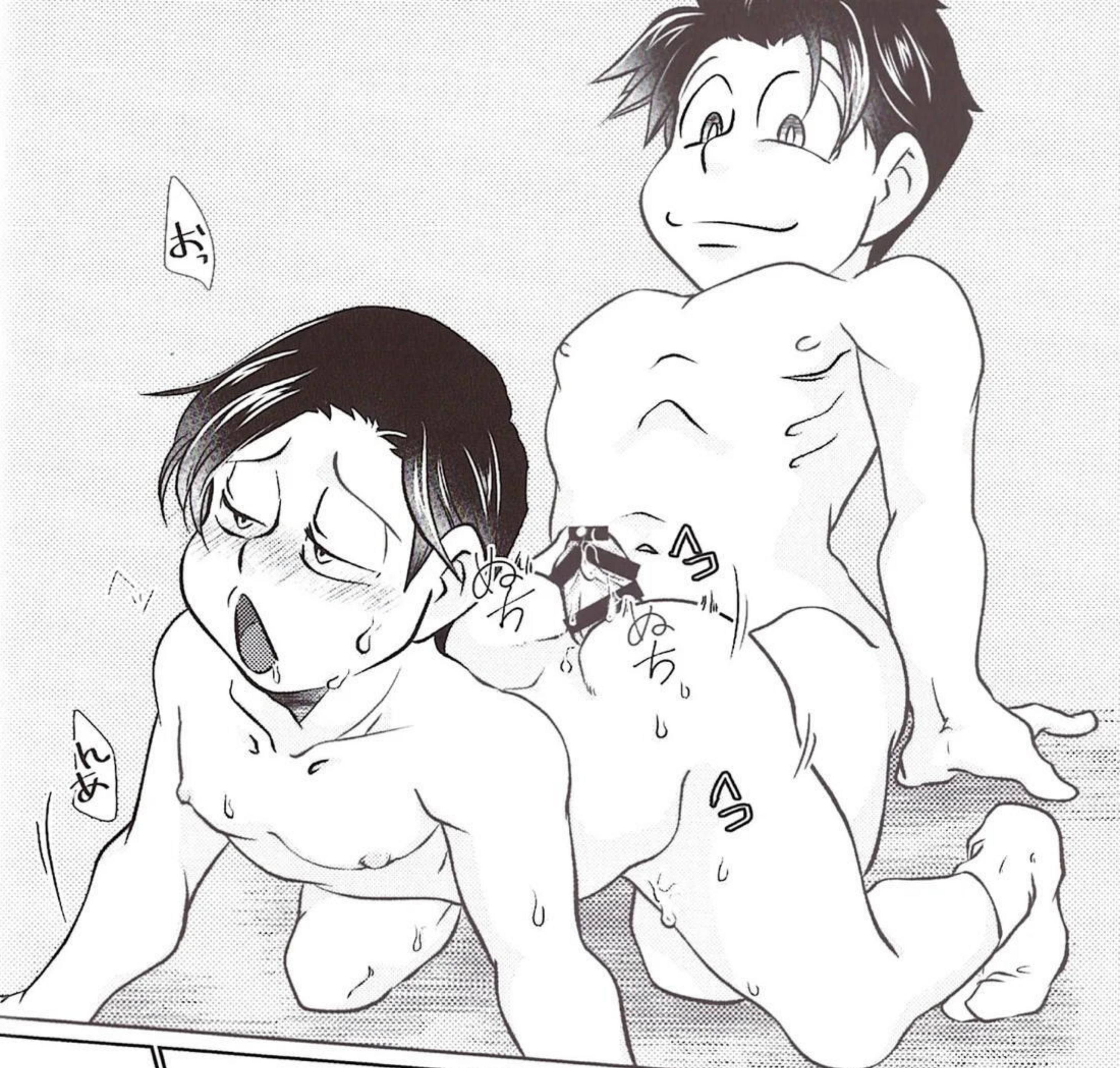
大蔵さんと  
あそぶ

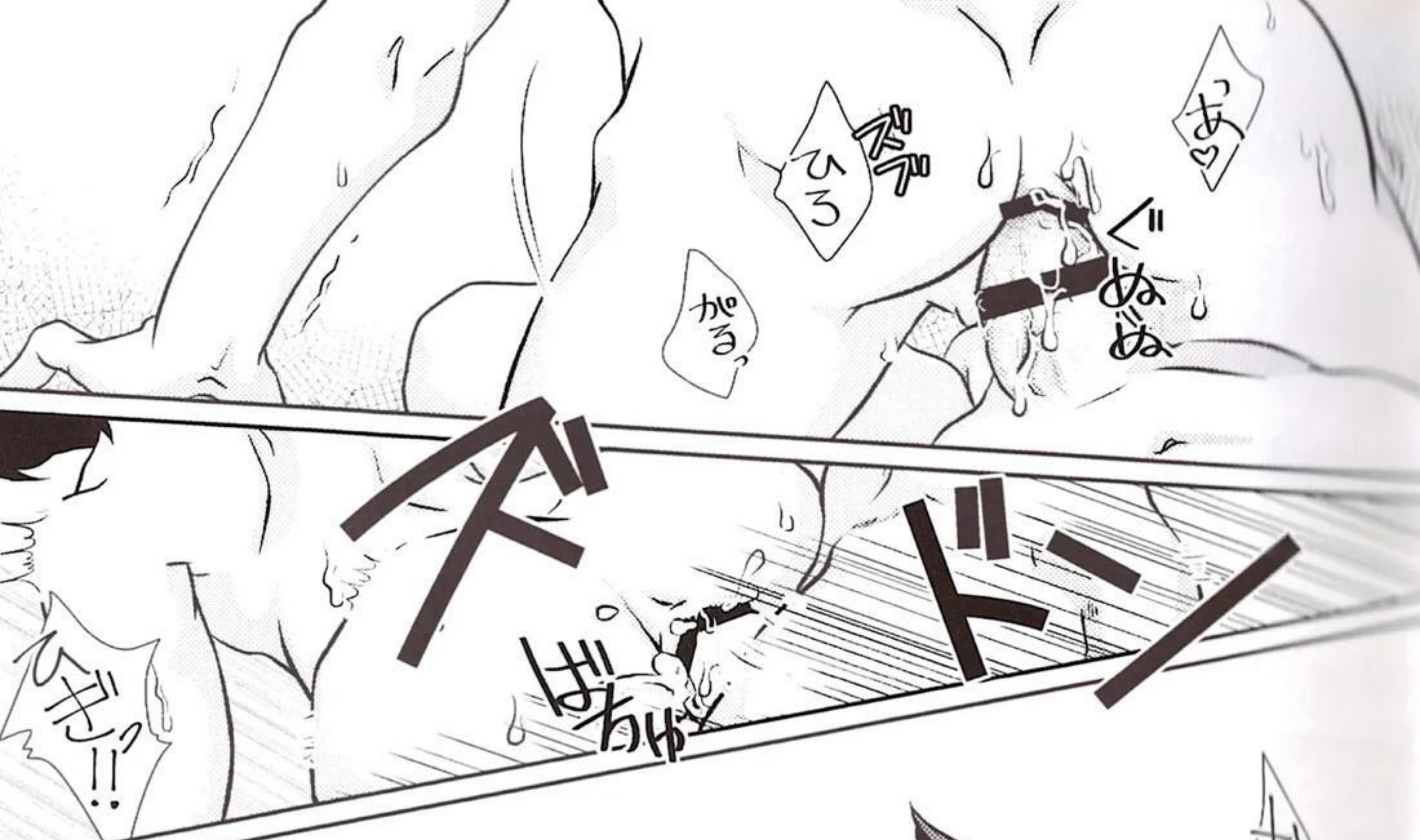
びん

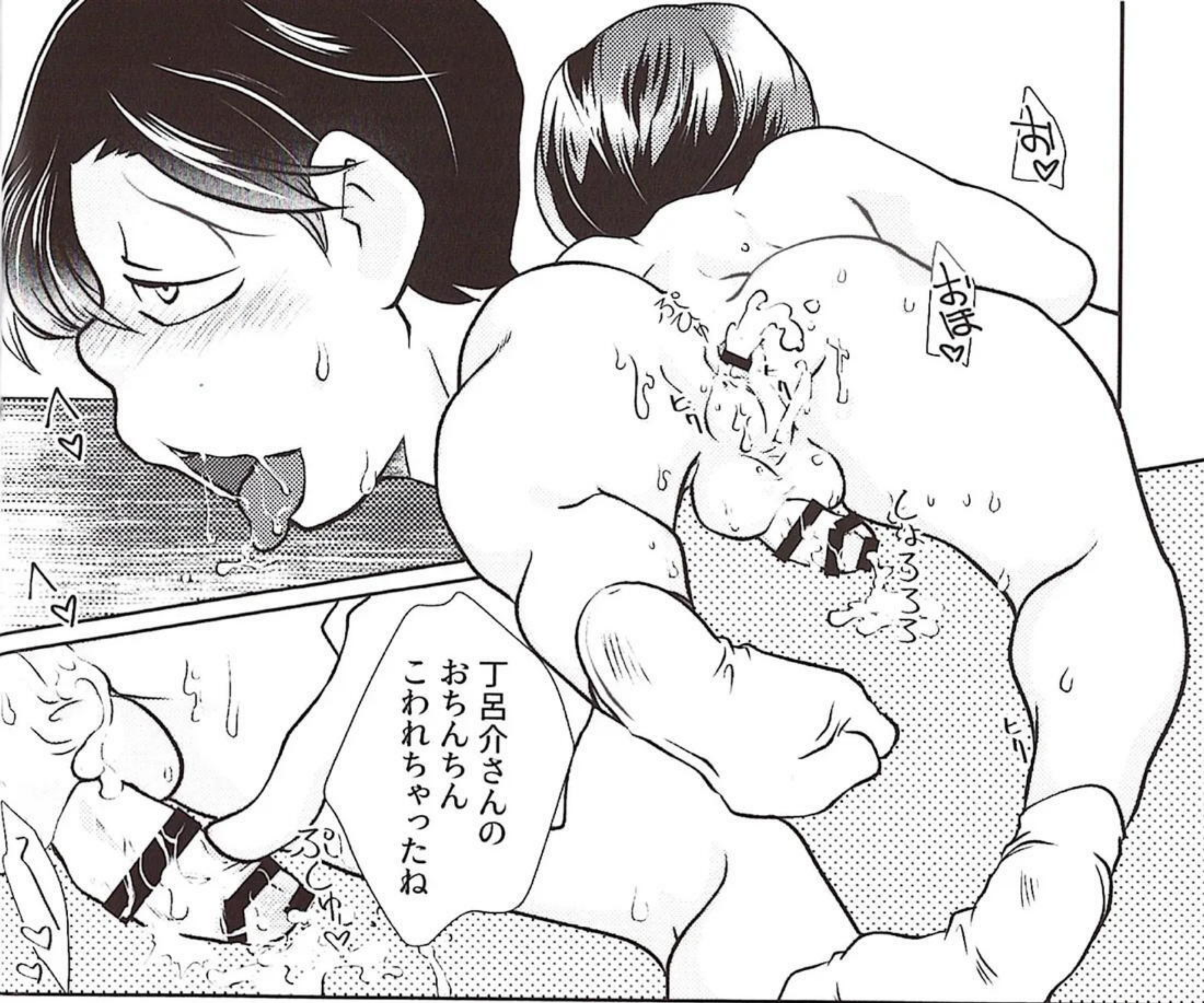


もの覚えがいいね  
丁呂介さん

いいこだねえ







丁呂介さんのおちんちんこわれちゃったね



どうしたもう満足しちゃったの?

だめ

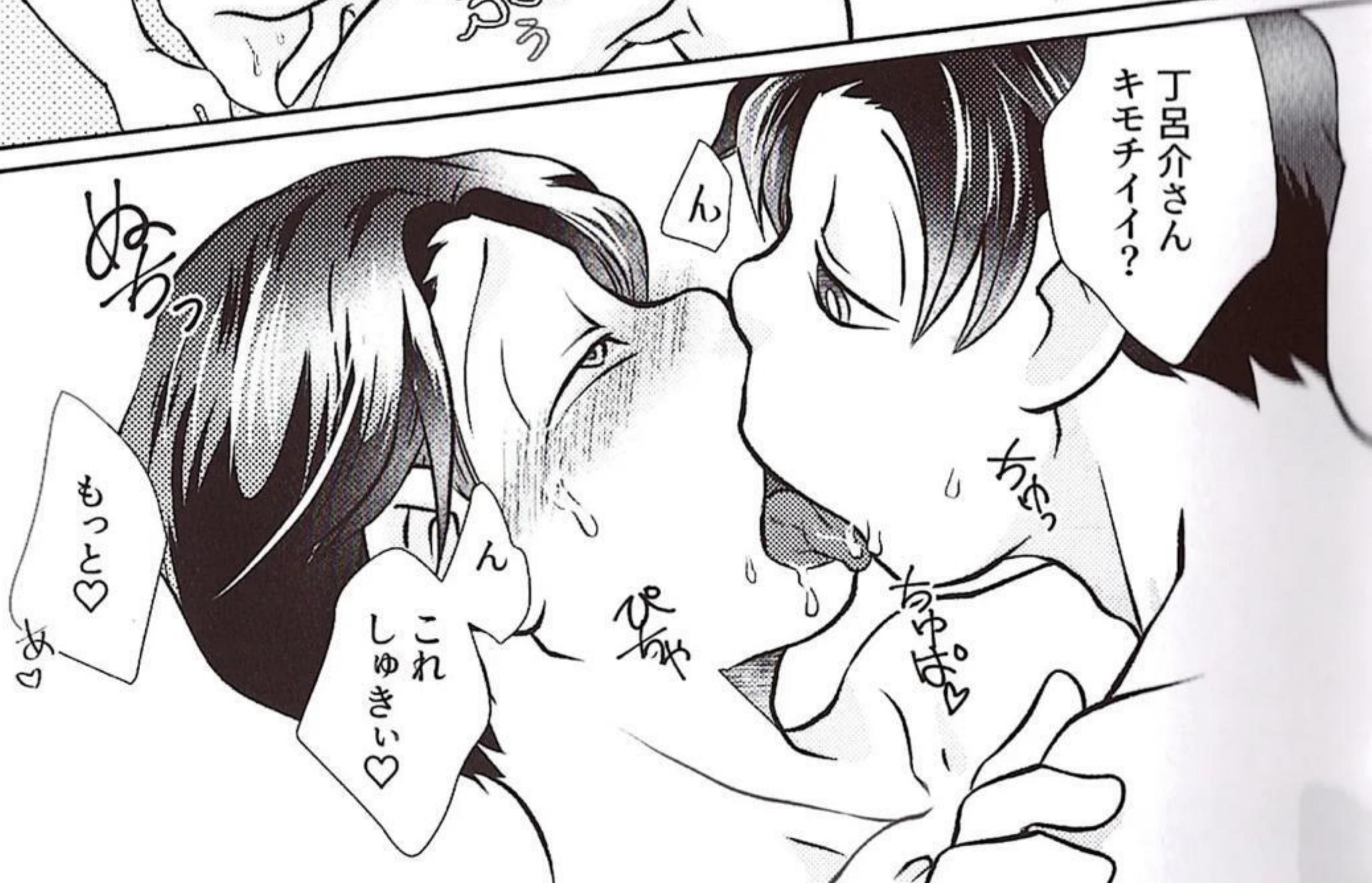
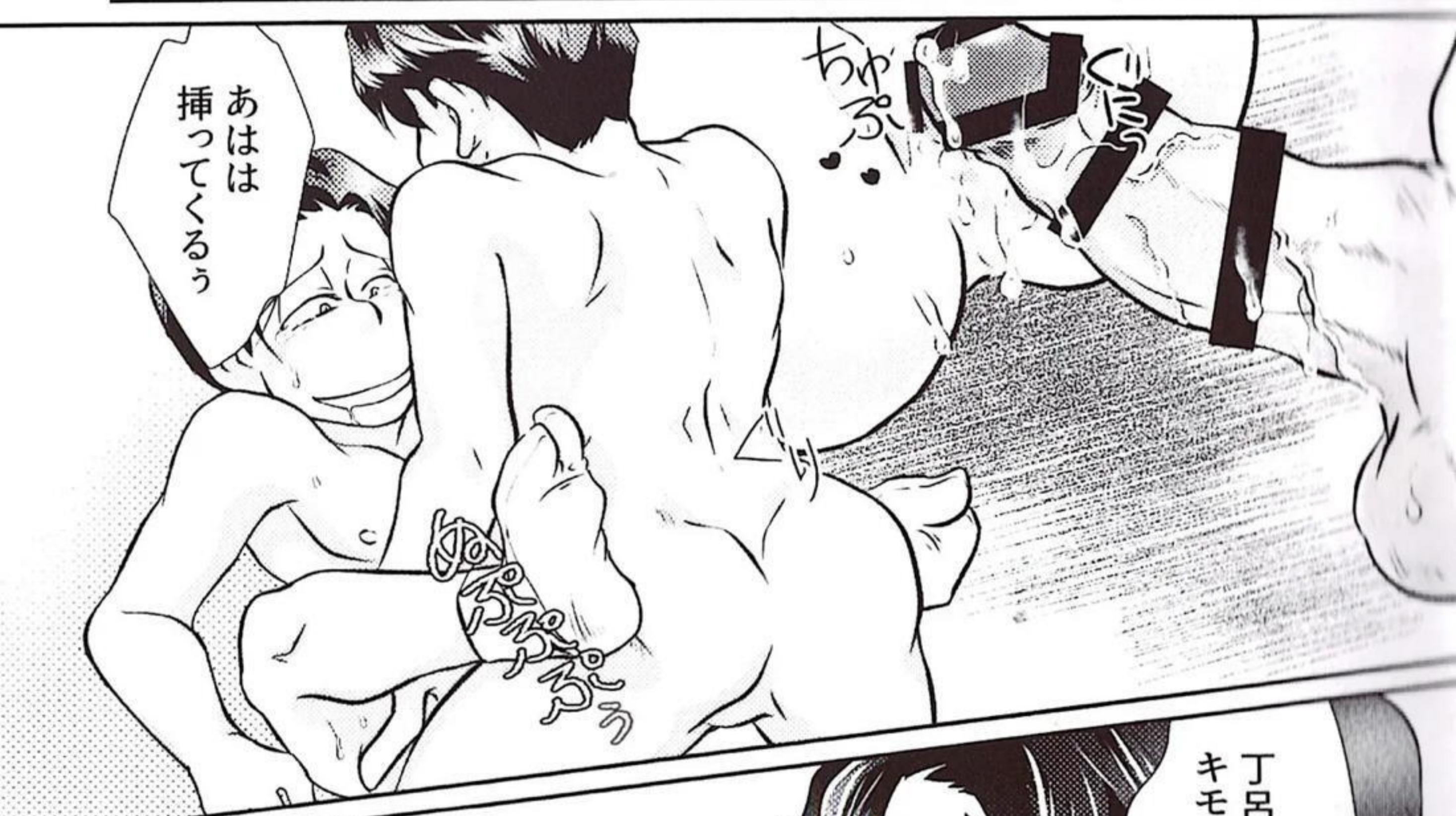
もうこれ以上は……

は

は

は

あ







こわしちやったかなあ



ダヨ子ちゃんも  
みんなも心配  
してるよ!!

久しぶりじゃないよ  
ふたりともずっと  
緑土家にもいなくてさ



いったいどうで  
なにしてるの



あ

おそま

……大蔵さん

おー  
ぼっちゃんか  
なんか久しぶりだな





ずっと緑土家に  
いたよなあ

久しぶりの外出なんだけど  
丁呂介さんが  
離してくれないんだよ

おおぞ  
はやく  
はやく

おっき  
おま

まったくもう

こんなに  
壊しちゃって

おイタしちや  
ダメって言ったのに

あま

丁呂介さんが  
手に入って  
上機嫌なんだよ

俺らは  
「家」に帰るから  
また気が向いたら  
会おうな



じやあな  
十四雄

みんなには  
よろしく伝えとらて

めんどうくさいね

まったく

あーあ

どう  
説明しようかな

この同人誌は18歳以上で2次創作及び  
同性愛に理解ある方を対象に発行して  
おります  
不特定多数の方の目に触れるネット上への  
画像アップロード複製転売行為を固く禁止いたします

誌名 ■ まあただよ


発行日 ■ 2020/03/08

印刷所 ■ (株)日光企画

発行 ■ 泥仕合 泥試合

mail: dorokabo13@gmail.com

pixiv: 1280916



2020/03/08

赤鹿大蔵×緑土丁呂介

(おそ松×ちょろ松)

泥仕合

成人向け